

倉掛新聞

《発行所》
 倉掛自治連合会
 井原市井原町倉掛
 会長/梶谷昌弘
 《編集》
 倉掛自治連合会
 倉掛婦人会
 倉掛少年団
 倉掛分団第5部
 消防井原

自治会費を協議

十年間で消防ホース全面買換え

年明けの一月十日、倉掛自治会総会が第五部消防機庫の二階で開かれ、地区内二五組の自治会長をはじめ民生委員や連合会役員ら約五十名が出席した。

自治連合会の梶谷会長の挨拶に続いて議事に入り、連合会の役員承認、そして昨年末の決算総会で検討課題となっていた自治会費に関する議案を主に、活発な協議が行われた。

自治会費が各戸で違う根拠の質問は「不公平感を抱くことにも繋がるのでは」との意見に拡大。これを受け、自治連合会は過去にさかのぼり、違いの根拠の調査を行った。

しかし、約四十年前の会費算出方法を正確に知る方々は既に他界され、総会の席で明確な回答を打ち出せない事実を報告。結果的には、会費の格差縮小と消防ホース購入費用捻出のため、今年も十年ぶりの自治会費値上げ案が承認されるに至った。

より公平な自治会費のあり方については、倉掛地区住民の声を十分耳を傾ける為の猶予期間を置き、慎重に検討される。



普段は目にしない消火用の器具箱の中

予算総会

また、郷社の神社委員選出については提案に沿い、総代側で個別に訪問して依頼する形が承認された。

倉掛の発展を願う

梶谷昌弘氏が連合会会長に就任



事々会計と総務を歴任し今期に至った。年初より予算総会を始め、出初式や各会合を精力的にこなしている。

梶谷会長は「微力ながら、地域の皆様方のお役に立てるように頑張りたいと思っています。ます」と語っている。

内容の見直し大切

重要懸案の自治会費については地域の意見を取り入れた決定方法を模索するかたわら、自治会のあり方や



平成10年度倉掛自治連合会役員顔ぶれ

神社委員決まる

- | | |
|-----------|-------|
| 〔担当地区〕 | 〔氏名〕 |
| 倉掛地区神社委員長 | 梶谷 昌弘 |
| 一〇二組 | 大坪 正広 |
| 三〇四組 | 倉橋 則雄 |
| 五〇一〇五の二組 | 岡本 武己 |
| 六〇七組 | 山岡 邦夫 |
| 八組 | 遠藤 生三 |
| 九〇十組 | 安原 光夫 |
| 十一〇十二の一組 | 渡辺 勤 |
| 十三の二組 | 熊谷 辰夫 |
| 十三の三組 | 佐能 英雄 |
| 十四組 | 江草 敏夫 |
| 十五の二組 | 小田原勝昭 |
| 十六組 | 山本 昇 |
| 十二の二組 | 十七組 |
| 十八の二組 | 朝原 孝之 |
| 十八の三組 | 丸山 治人 |
| 十八の四組 | 梶谷 昌弘 |
- 以上の十五名が倉掛の神社委員に就任し、神社委員は自治連合会長が兼務。委員は郷社の運営に係わり担当地区とのパイプ役をつとめる。任期などは協議のうち決定される。

倉掛民生児童委員

川相 肇

ふれあいのまちづくり計画

「近所で防げなかったのか。少しでもお手伝い出来たら」と思われた事でしよう。そんな一人ひとりの優しい気持ちが出発点となり、地域住民の参加協力によるサービスの利用を有効に結び付け、人々が安心して暮らすことが出来る様な地域社会を作る活動が急務です。

当地には幸いに先輩により倉掛社会福祉協議会も設立されています。

私も四月より一組の会長として、福祉の隣組活動に努めます。各々自治会にも設置され、ふれあい、たすけあい、ささえあいのある住みよい地区に努力しましょう。

福祉の隣組活動の推進目的

最近ひとり暮らしの高齢者の孤独死の問題や、介護に心身共に疲れてしまふ問題などが起きています。また、近所ですのような人を知っていると、いう場合もあるかも知れ

勇壮に出初式

消防井原分団第5部

部長に夏目の岡本さん

一月十八日、井原市消防出初式が挙行され、地元井原分団第五部(岡本博文部長以下団員二十名)もこれに参加した。

あいにくの雨の中、午前六時からの第五部の行事に倉掛自治連合会より梶谷会長と妹尾消防部長が出席。

倉掛を代表して祝辞を述べ日頃の地道な活動に感謝の意を表した。

このあと第五部は七時から井原分団の式典に続いて井原町内を消防車でパレード。また、十時から市民会館で開かれた市団の式典に臨んだあと向町川原へ移動し、勇壮な一斉放水などを披露した。



地域の防災に欠かせない貴重な若手ボランティア集団だ

事の大切さを皆で呼びかけて欲しい」と岡本部長は住民への協力を求めている。

第五部消防団名簿

- 部長 岡本博文(夏)
- 副部長 小谷和彦(倉)
- 副部長 宮永一彦(倉)
- 会計 矢違敏文(夏)
- 会計 浜田雅彦(倉)
- 消防班長 倉橋秀樹(倉)
- 厚生班長 山岡広海(倉)
- 機械班長 森兼孝治(倉)
- 水源班長 藤井浩(夏)
- 組長 大坪正和(倉)
- 団員 川相晋一(夏)
- 団員 川相幸久(夏)
- 団員 北田広行(倉)
- 団員 竹内健治(夏)
- 団員 柳本兼志(夏)
- 団員 佐藤重徳(夏)
- 団員 川上泰宏(倉)
- 団員 川相謙治(倉)
- 団員 佐藤友泰(夏)
- 団員 梶井克也(夏)

団員やーい

ところで消防団員の確保については各地区共通の悩みの種となっているが、第五部もその例にもれない。

「同世代の若者が地域を知り、そして守る

地域を通し社会勉強

倉掛少年団&育成会 年間の諸行事をほぼ消化

倉掛少年団(倉橋拓也団長二九名)と育成会(倉橋一郎会長二五名)が、平成九年度の諸行事をほぼ終

中央分離帯残る 旧ポニー西側の工事続く

平成十一年一月の開業を目指して急ピッチで工事が進められている第三セクターの井原線。駅舎は無論のこと、表玄関となる井原駅前大通りの道路整備もこれに合わせて進行中だ。

七日市町の井原郵便局前や倉掛地区内の旧ポニー西側は公共下水道の工事が昨

年九月以降続いている。これが終了すると、次に四m五十mとなる歩道の拡幅工事や、撤去を望む声もあつた中央分離帯設置工事が行われる。

井原市建設課によると、最終的には十月末頃に工事を完了する見通し。



少年団活動は社会教育の場として色々な事が学べる

秋祭りには恒例の子供みこしが賑やかに繰り出した

えようとしている。

例年どおり郷社の清掃を皮切りに、元氣よく活動を展開してきた倉掛少年団。

倉橋会長は「九月に四年生の川相尚子ちゃんが亡くなられた事が一番悲しい」と

思い出を語る

「二年の最初の行事の郷社清掃で大雨が降り、この先どうなるかと心配した」

六年倉橋拓也君

「キャンプファイアーの火が消えそうになるまで皆で歌い、遅くまでお菓子を食べてさわぎ、しかられた」

六年的場由香里さん



育成会の関戸啓二さんと鬼に扮した片岡宏文さん

弔意を述べた上で「親子で楽しめる少年団活動を目指した。地区の皆様には廃品回収や秋祭り他、何かとお世話になりました」と感謝

情報お待ちします

倉掛新聞は地域の皆様のための新聞です。ご意見をはじめ、身近な出来事や趣味、或いはイラスト、俳句、スポーツといった幅広い分野の情報を気軽に寄せ下さい。

窓口は倉掛自治連合会役員です。また本紙入用の方も役員までどうぞ。

- ◆ 行事予定 ◆
- 2/8 日 倉掛少年団レクリエーション
- 2/14 日 古紙回収(井原市役所へ持参) ※毎月第二土曜 7:30~9:00
- 2/21 日 防犯パトロール(自治連合会)
- 3/8 日 倉掛少年団入退団式 10時~
- 4/2 日 郷社清掃 午前8時~
- 4/4 日 郷社春季大祭
- 4/11 日 倉掛自治会総会(予定)
- 5/10 日 第1回井原町民体育祭

「みんなががんばってソフトボールの練習をして三位になった。クリスマス会のゲームもおもしろかった」

六年関戸裕之君

「少年団で一番の思い出にのこった事は、キャンプファイアーをして楽しかったことです」

六年山岡悦子さん

「キャンプの時、テントの中でみんなでおしゃべりをした。廃品回収ではリヤカーののって道を走った」

六年森尚子さん

「心に残ったのはソフトで三位になった事。サードを守りいい試合ができた。今年もがんばりたいです」

五年佐能実智男君

「秋祭りでは声がかれるくらいががんばった。クリスマス会のジャンケンゲームで早く負けてくやしかった」

四年的場美希さん